

バイオマス活用アドバイザー プロフィールシート

	【名前】 大塚 憲昭
	【現職（所属）】 株式会社さとけい 代表取締役 特定非営利活動法人里山倶楽部 理事・バイオマスエネルギー事業部長
【略歴】 1975年 関西大学社会学部卒業、新聞社入社 2000年 新聞社を退社、里山倶楽部の事務局を専従 2001年 里山倶楽部がNPO法人登記、理事に就任 2004年 里山倶楽部バイオマス利用研究会設立 2004年 NEDOと共同事業を実施「NPOによる薪炭林エネルギー化促進事業調査」 2005年 万博記念公園より 同年 NEDOと共同事業を実施「公園内木質バイオマス」里山倶楽部バイオマスエネルギー事業部設立 同部長 2008年 木質エネルギー産業ネットワークLLP設立参加 2011年 株式会社里山経済研究所を設立 2017年 株式会社さとけいに社名変更	
【得意分野】 <ul style="list-style-type: none">・木質バイオマスの熱利用機器の導入・スターリングエンジンを利用した発電システムの導入・小規模分散型コージェネレーションシステムの導入	
【バイオマス利活用に関する取組・一言コメント】 <p>農山村に存在するエネルギー資源を活用し、持続可能な資源循環型社会をつくることを目標にしています。木質バイオマスを活用した熱電併給のコージェネレーションシステムにより、独立した地産地消型エネルギーを生産し地域社会の自立をサポートしたいと考えています。そのための設備は、燃料形態を薪又はチップとし、木質ボイラーによる熱の生産とスターリングエンジンによる発電を行う小規模分散型システムで、地域の利用可能な資源量とバランスした規模を想定しています。</p> <p>IT社会の進展とともに電気の重要性はますます高まっており、小規模なコージェネレーション設備を地域内に点在させることで、地域の非常時でのセーフティ機能が高まります。また、二酸化炭素排出量の削減で環境を汚さないクリーンな社会を維持することができ、そんな美しいまちづくりを目指しています。</p>	